

着任の 御挨拶



肝付警察署
署長 池田博志

本年三月二三日付けで肝付警察署長に着任しました池田です。

出身は、旧松元町（鹿児島市）で、これまで大隅半島での勤務は、鹿屋署と志布志署がありましたが、肝付署での勤務は初めてとなります。着任しまだ日が浅いですが、人情味あふれる住民の皆様とご縁に感謝しながら毎日を過ごしているところです。

また、歴史と伝統のあるこの地で治安を任せられたことを大変誇りに思っております。大変な重責ではありますが、皆様が心から安心して、安全に暮らせるよう、誠心誠意務めていきたいと思えます。どうぞよろしく願います。

最近の治安情勢について簡単に説明させていただきます。

県内では、減少が続いていた刑法犯認知件数が、令和四年以降増加に転じており、当署管内におきましても、近年、増加傾向が見られます。また、今年に入り、うそ電話詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺の認知件数が既に一三〇件を超え、被害額も五億円に迫る（三月末現在）など、非常に厳しい情勢であります。当署管内でもいつ同様の被害が発生するかわかりませんので、怪しいと思ったら直ぐに電話やSNSのやりとりを中止し、警察署に相談をしていただきますようお願いいたします。

次に交通情勢についてです。昨年、交通事故で亡くなられた方は、五三人と一昨年と比べ大幅に増加しました。今年に入っても交通事故死者数は増加傾向で、当署管内でも既に一人の方が交通事故で尊い命を落とされるなど、非常に厳しい情勢

★「いかのおすし自由帳」をプレゼント

肝付地区防犯協会では、肝付警察署との連名で管内の新入学児童（140名）に対して、防犯グッズ「いかのおすし自由帳」を配付しました。また、県防犯協会・県警察本部が作成した防犯チラシを新入学児童とその保護者へ配付し、子ども達には「自分の身を守るための行動をしましょう」保護者へは「誘拐・連れ去り・いたずらから子どもを守りましょう」と注意を呼び掛けました。

小学生になると登下校時や放課後に子ども達だけで過ごす時間が増え、それにより交通事故や事件に巻き込まれてしまう危険性が高まります。

子ども達が被害に遭わないよう、地域ぐるみで見守り活動のご協力をお願いいたします。



警察署でも交通指導取締りやパトカーによる街頭活動を強化しておりますが、皆様も交通事故の当事者にならないため、引き続き、思いやりとゆずり合いの心をもって交通安全に努めていただくようお願いいたします。

肝付署では、「犯罪を起こさない、起きにくい安全で安心なまちづくり」を目指し、署員一丸となって治安維持に努めているところですが、十分ではありません。当署では「防犯・交通安全ながら見守り活動」の普及拡大に取り組んでおり、自治体をはじめ、多くの団体、住民の皆様と同活動にご参加いただいております。この場を借りまして深く感謝申し上げます。今後とも引き続き、より一層皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

★不審者対応訓練を実施

4月10日（木）に、内之浦中学校で令和7年度最初の不審者対応訓練を実施しました。雨天のため、運動場から体育館に変更しての訓練になりました。

訓練では、生徒の代表が下校途中や友達と遊んでいるとき、家で留守番をしているときに不審者に遭遇した場合、どのように行動するかを署員が不審者役となり実際の行動の仕方を学びました。



★早朝立哨で児童をサポート

4月11日（金）に、少年ボランティアの方々が、高山小学校の正門前で早朝立哨を行いました。

この日は春の交通安全運動期間でもあり、役場職員や学校関係者も交差点や横断歩道で立哨し、児童の安全を見守りました。

子ども達の元気で大きな「おはようございます」の声に、私たちも元気をもらいました。

